

◎電気柵の安全確保について

平成27年7月19日に静岡県西伊豆町で、獣害対策の電気柵による感電死亡事故が発生しました。

当JA管内においても、有害獣による被害対策として、多くの方が電気柵を設置利用されております。

事故防止のため、改めて以下の点をお守り下さいますようお願いいたします。

☆地域の皆様へお願い

電気柵を見かけても不用意に近づいたり、触らないで下さい。

☆電気柵設置者の皆様へ

○設置圃場で確認すべき事項

- 1 電柵機が正常に作動し、**漏電や断線が無いことを確認**して下さい。
- 2 周囲の人が容易に確認できる位置や間隔、見やすい文字で**危険表示の掲示**がされているか確認して下さい。

○安全確保のため遵守すべき事項

- 1 電気柵の電気を30ボルト以上の電源(コンセント用の交流100ボルト等)から供給するときは、**電気用品安全法の適用を受けている電源装置**を使用して下さい。
- 2 上記1の場合において、公道沿いなどの人が容易に立ち入る場所に設置をする場合は、危険防止のために、15ミリアンペア以上の漏電が起こったときに0.1秒以内に電気を遮断する**漏電遮断機**を設置して下さい。

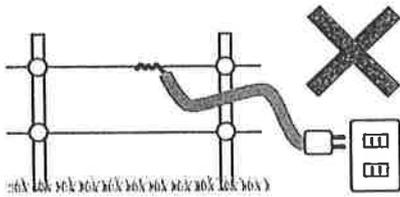
※ JAより購入された電気柵製品は安全対策がなされたもので、通常使用では問題ありません。適正に使用し改造等を行わないで下さい。

その他、日本電気さく協議会が作成した「電気柵の安全基準について」電気柵を安全に使用いただく為の注意事項の記載がありますので、内容の確認をお願いします。

電気柵の安全基準について

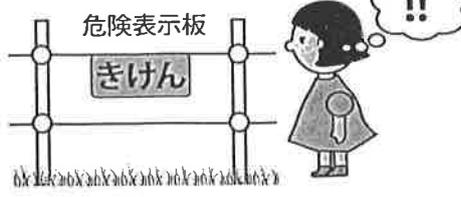
電気柵を安全にご利用いただく為には以下の点にご注意下さい。

設備基準の部

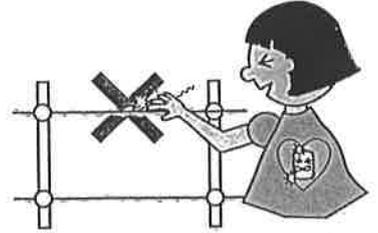


コンセントなど

- ★ 商用電源 (AC100V または 200V) をそのまま直接「さく線」に通電することは、多量の電気が流れ、感電死しますので非常に危険です。また、電気安全法上の法律違反ですので、絶対になさらないでください。

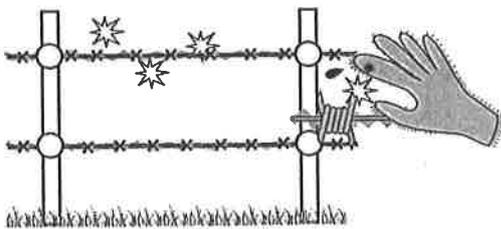


- ★ 人が容易に立ち入る場所では、必ず「危険表示板」を設置ください。法律上の義務です。



ペースメーカーなど

- ・ペースメーカーや除細動器を装着しておられる方は、電気さく線に直接触れないようにしてください。同機器に影響を与え、人体に重大な影響を及ぼす可能性があります。



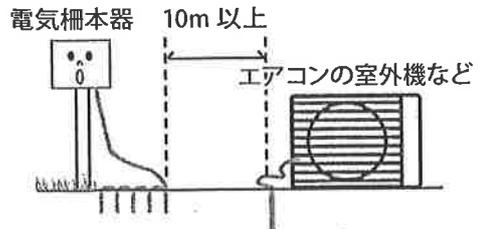
- ★ 有刺鉄線等「とげ」のあるものを電気さくの「さく線」または「アース線」として使用することは厳禁です。とげ部分が血管等に刺さり、ショック電流が流されると通常より大きなショックとなります。絶対になさらないでください。



- ・雷発生時は、電気さく用電源装置や電気さく線に近づかないでください。落雷がなくても、高圧電気がさく線に溜まっていることがあります。危険ですのでご注意ください。



- ・水道管やガス管をアースとして使用しないでください。同管にショック電流が流れたり、管が電気さくのパルス電気で錆を呼び、穴をあけることがあります。



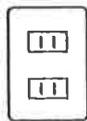
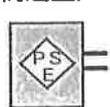
- ・電気さくのアースは、近くに柱上高圧トランス (変圧器) もしくは他の電気機器のアースがある場合は、10m以上放してください。

用品の部

電灯線式
電気柵本器



漏電遮断器
(高速型)



- ★ 商用電源 (AC100V または 200V) より電源をとる場合、元電源に一番近いコンセントに「PSE マーク付き漏電遮断器 (高速型)」を使用ください。法律上の義務です。
- ・商用電源 (AC100V) より電源をとる「電気さく用電源装置」には、PSE マーク付きのものをご使用ください。

上記は、日本電気さく協議会の自主規制であり、すべてが法律化されているわけではありません。(★マークは法律です。)

◎電気さくとは

電気柵システムは獣害防除（野生動物から農地を守る）、放牧（馬、牛、豚などを外で飼う）を目的とし世界各国で使用されています。

電気さくの仕組み

電気さくは、AC100VやDC9-12V(バッテリー、乾電池)を電源とするパワーユニット（電気さく用電源装置）が発生させるパルス電流を電気さくワイヤーに流し、これに触れた動物にショックを与えて、田畑などへの侵入を防ぎます。（下図1）

電気さくワイヤーに流れる電圧は10000Vに達しますが、法律で定められた電気さくを使用する限り、危険なものではありません。

下図2の様に、電気さくワイヤーへパワーユニット(電気さく用電源装置)を介さず直接家庭用電源100Vを繋いではいけません。非常に危険で死亡事故に繋がります。（法律違反となります）

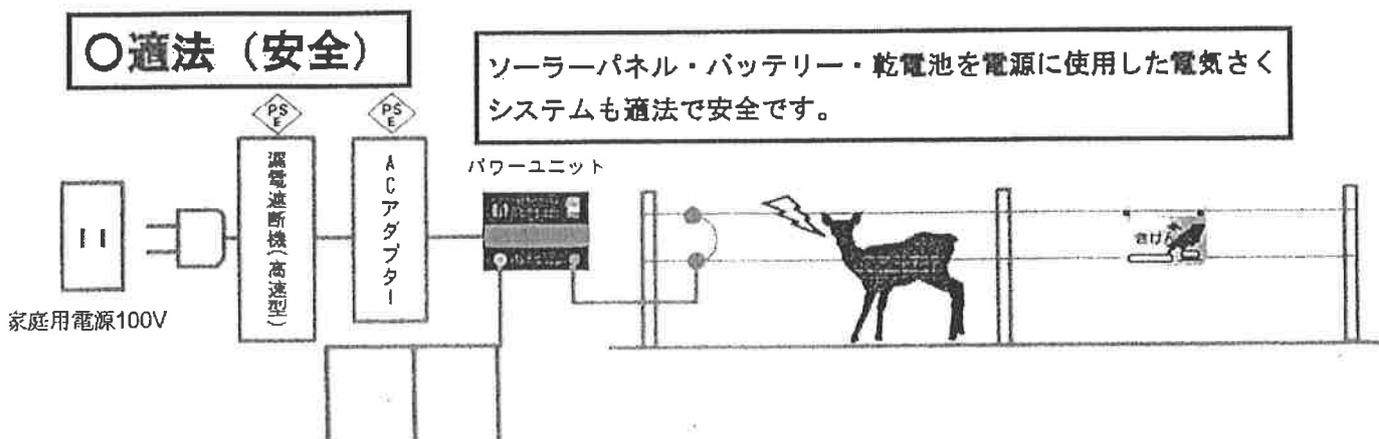


図1 家庭用電源100Vを電源とするパワーユニット(電気さく用電源装置)を使用した電気さく

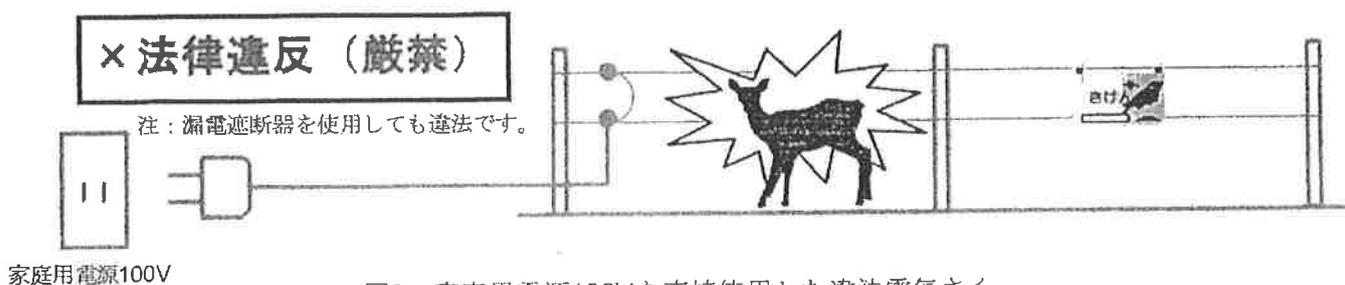


図2 家庭用電源100Vを直接使用した違法電気さく